

第5章 環境教育

第1節 環境教育および啓発事業の推進	112
1. 環境学習センターの取り組み	112
2. 環境保全課の取り組み	118

第1節 環境教育および啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動がとれる市民の育成を目的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成22年度は次のような事業を行った。
なお、平成21年度より指定管理者制度を導入している。

(1) 普及啓発事業

自然観察会

身近な自然に対する関心を深め、自然に親しむことを目的に、市民を対象にして年10回実施した。運営は、四日市自然保護推進委員会に委託した。

ecoコロンプス号

バスで四日市周辺に出かけ、市内の環境や身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、市民を対象に3回実施した。

実施日	場 所
7 / 10 (土)	自然たんけんバス
8 / 6 (金)	資源リサイクルの旅
10 / 21 (木)	大人のための環境学習バスツアー

四日市の身近な自然調べ

小学生が身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに、自然への関心を深めてもらうため、生き物を「探す・採る・調べる」などの自然体験ができる「四日市の身近な自然調べ」を年10回実施した。低学年から気軽に参加できる「自然ふれあいコース」と高学年向けのより専門的な学習をする「いきものミステリーコース」を行った。

こどもエコゼミ

小中学生を対象に四日市公害等をテーマにして講義と実験・体験を組み合わせたセミナーを6回実施した。

実施日	内 容
7 / 30 (金)	四日市公害
7 / 31 (土)	地球温暖化
8 / 12 (木)	電子工作
8 / 20 (金)	植物スケッチ
8 / 21 (土)	サイエンス広場
12 / 18 (土)	こどもエコパーティー

環境セミナー

市民を対象としたセミナーを3回実施した。

実施日	内 容
4 / 2 4 (土)	水生生物調査指導員スキルアップ講座
5 / 2 2 (土)	保々地区ホタルの観察会
5 / 3 0 (日)	初めてのビーチコーミング

エコ工作体験教室

市民を対象に不用になったものに新たな役目を与え、物を大切に省資源・省エネルギーの意識啓発につなげる実習を4回実施した。

開催日	内 容
6 / 1 9 (土)	和のエコバック作り体験教室
8 / 2 0 (金)	ビーチクラフト教室
1 2 / 2 5 (土)	お正月飾り作り体験教室
1 / 2 0 (水)	布ぞうり作り体験教室

朝明リバーウォーク

C O P 1 0 パートナースhip事業登録事業として、四日市大学自然環境教育研究会と連携し、朝明川の河口から上流までを観察しながら生物多様性を学ぶ講座を実施した。

開催日	内 容
4 / 2 9 (祝)	火力発電所見学と干潟の観察会
9 / 1 1 (土)	川から山や海を学ぼう
1 1 / 1 4 (日)	うきうきディキャンプ

企業等連携事業

市内の企業と連携して、「食」「暮らし」をテーマとした身近なところで環境に配慮する意識啓発を目的に、市民を対象に、実習を交えた講座を5回実施した。

開催日	内 容
6 / 2 6 (木) 2 / 5 (土) 2 / 1 9 (土)	エコ・クッキング講座
9 / 3 0 (土) 3 / 2 9 (火)	エコライフバスツアー

パネル展

四日市公害をテーマに夏休み期間にパネル展を開催した。また、「御池沼沢パネル展」および「ウミガメ！はっけん i n 四日市パネル展」を開催した。

(2) 人材育成事業

地域環境リーダー養成講座

地域における市民の自主的な環境学習、環境保全活動のリーダーとして活躍できる人材の発掘と育成を目的として「環境リーダー養成講座」基礎編・応用編および三泗小中校教員を対象とした教員編を開催した。また、これまでの講座修了生を対象にスキルアップ研修会を開催した。運営は、四日市大学エネルギー環境教育研究会に委託した。

基礎編

実施日	内 容
5 / 8 (土)	地球温暖化・エネルギー問題とは(講義) 暮らしと省エネルギー(講義) 食とフードマイレージ(講座)
6 / 5 (土)	四日市の自然(講義) インタープリテーション(実技)
7 / 3 (土)	水の生態系と温暖化(講座) 土壌の環境浄化作用(講座)

応用編

実施日	内 容
9 / 4 (土)	四日市のごみ施策(講義) ごみと3R～先進事例を訪ねて～(講義)
10 / 9 (土)	四日市公害史(講義) 車社会と大気汚染(講義) エコ・トレーニング(講座) KJ法～低炭素社会をつくろう～(講座・実技)
11 / 6 (土)	バス視察研修 あやまふれあい公園、伊賀菜の花プロジェクト
12 / 4 (土)	エコ工作を通じた環境教育(講義・実技) 環境活動事例報告

教員編

実施日	内 容
7 / 29 (木)	環境教育の授業提案～エネルギー環境教育～ 太陽電池をはじめとする新エネルギーについて
8 / 5 (木)	アクアワールド水郷パークセンター、輪之内町エコ ドーム視察(体験研修)

スキルアップ編

実施日	内 容
12 / 11 (土)	バス視察研修 中部リサイクル、アビズ、藤前干潟
1 / 8 (土)	国におけるエネルギー施策について 四日市市環境計画策定について 環境クイズを楽しもう～地球環境から身近な問題～
2 / 5 (土)	プログラム作成～企画、実践方法を考えよう(講義) プログラム作成～シュミレーション(講義)

四日市公害学習指導者養成講座

四日市公害の教訓を語り継ぐ人材の育成を目的として、市内の小中学校の教職員を対象とした研修会など、指導者養成講座を3回行った。

実施日	内 容
6 / 12 (土)	四日市公害解説ボランティア養成講座
7 / 22 (木) 1 / 6 (木)	教職員研修 四日市公害講座

(3)環境学習支援事業

市内の学校や団体などの環境学習支援のため、出前授業や見学の受け入れを行った。

四日市公害学習など環境学習支援事業

市内小学校をはじめ大学や企業など21団体の支援を行った。

出前講座 エコ工作体験講座

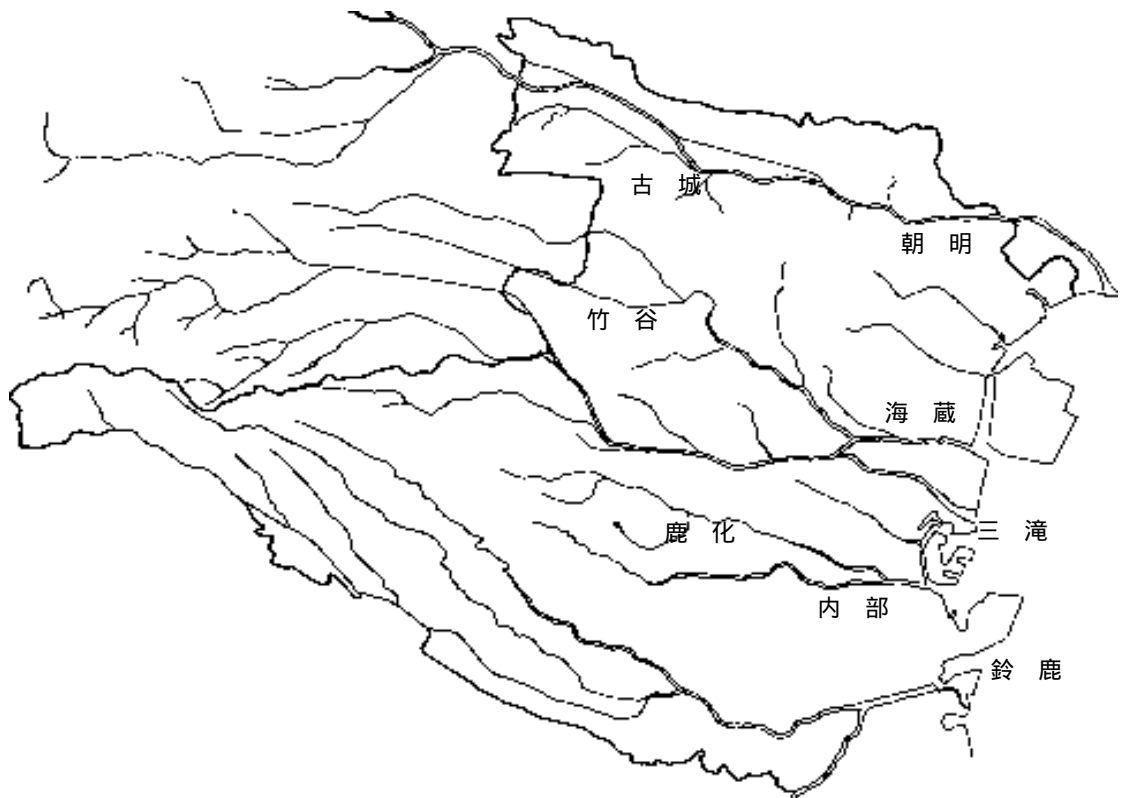
地区市民センターなどの依頼を受け、竹工作や紙すき講座など26回の出前講座を行った。

出前講座 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、鈴鹿川、鹿化川、三滝川、朝明川、海蔵川において水生生物調査を実施した。

水生生物調査結果

・調査地点



調査結果													
調査地点番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
河川名	朝明川	鈴鹿川	三滝川	鹿化川	鹿化川	鹿化川	内部川	矢合川	矢合川	矢合川	海蔵川		
調査地点名	里橋上流	小倉橋上流	苅巻橋付近	川島橋下流	新川島橋上流	新川島橋上流	矢矧橋上流	船谷橋上流	如前前橋上流	船谷橋下流	四ツ谷橋下流		
調査年月日	5月18日	5月22日	6月8日	6月25日	6月25日	7月25日	8月7日	9月14日	9月14日	9月14日	9月21日		
時間	10:00	8:00	14:00	10:00	10:00	8:00	10:00	10:00	10:00	10:00	14:00		
天候	晴	晴	くもり	くもり	くもり	晴	晴	晴	晴	晴	晴		
水温(℃)	20.0	20.0	19.0	20.0	19.0	24.0	26.0	22.0	21.0	22.0	24.0		
川幅(m)	15	30	18	5	5	5	15	8	10	6	6		
採取場所	全体	上流から見て左岸	上流から見て右岸	全体	全体	全体	全体	全体	全体	全体	上流から見て左岸		
水深(cm)	30	30	30	30	30	20	20	30	50	30	40		
流速	普通	速い	速い	速い	普通	速い	普通	普通	速い	普通	速い		
川底の状態	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂		
水のおい	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない	感じない	感じる	感じない	感じる		
水のごり	少し濁っている	きれい	少し濁っている	きれい	きれい	きれい	少し濁っている	少し濁っている	きれい	少し濁っている	少し濁っている		
指 標 生 物 の 出 現 状	1	アミカ							○				
	2	ウズムシ	○					○					
	3	カワゲラ	○						○				
	4	サワガニ											
	5	ナガレトビケラ											
	6	ヒラタカグロウ						○	○				
	7	ブユ											
	8	ヘビトンボ								○			
	9	ヤマトビケラ											
	10	イシマキガイ	●										
	11	オオシマトビケラ											
	12	カワニナ			●	●	●		●	●	○	○	
	13	ゲンジボタル						○	○				
	14	コオニヤンマ	○	○	○	○		○	○	●	○	○	
	15	コガシマトビケラ			●			○	○	○			
	16	スジェビ	●	●	●			●	○	○	●	●	
	17	ヒラタドロムシ	○					●				○	
	18	ヤマトシジミ											
	19	イトコソブムシ											
	20	タイコウチ								○		○	
	21	タニシ					○						
	22	ニホンドロソコエビ											
	23	ヒル			○	○	○		○	○	○	○	
	24	ミズカマキリ											
	25	ミズムシ			○								
	26	アメリカサワガニ				○	●	○	○	○	●	●	○
	27	エラミミズ							○				
	28	サカマキガイ		●	○				○	○		○	
	29	セスジスリカ				○			○			○	
	30	チョウバエ											
水質階級の判定	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II		

注：○は出現した生物。●はそのうち数が多かった上位から2番目まで。

(4) 交流・活動支援事業

こどもエコクラブ支援事業

市内の20クラブの14,905人が登録した。

エコまつり

企業、市内の環境保全団体などと協働・連携し、市民が身近なものから環境について楽しみながら体験できる学習の機会として、11月28日(土)に開催し420人が参加した。

(5) 情報提供事業

環境情報誌『エコピース2011』の発行

特集「四日市の海に行こう」および市内の環境に関する情報を編集し、市民に向けて環境情報誌を発行した。

『エコっぱニュース』の発行

月1回発行し、センター事業の紹介、募集や環境学習センターのPRに努めた。

(6) その他

エキサイトバザールなど市内におけるイベントに出展し、竹工作や貝がらストラップ作りなどを行い、環境学習推進と施設のPRに努めた。

2. 環境保全課の取り組み

(1) 環境情報の提供

「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手引書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、現在はホームページに掲載している。

「広報よっかいち」への特集ページの掲載

「広報よっかいち」9月上旬号に、「生物多様性」をテーマとして、生物多様性がいま危機にあることや自然の大切さを解説するとともに、市民団体の環境を守るための取り組みや活動等を紹介し、環境保全に向けて市民ひとりひとりの取り組みを呼びかけた。

(2) 地球温暖化対策の推進

四日市市環境フォーラムの取り組み

市民、事業者、行政が参加する「四日市市環境フォーラム」を設立し、環境に対する総合的な取組をおこなった。10月に四日市市文化会館において、シンポジウムと展示・交流会を実施した。

日時：平成22年10月30日(土)

会場：四日市市文化会館、出展者数57団体、参加者627人

シンポジウム基調講演：山本清龍氏(東京大学大学院農学生命科学研究科助教授)

姉妹都市・友好都市による中学生環境サミット

夏休み期間中(8/1~9)に市内中学生と姉妹都市であるロングビーチ市の中

学生、友好都市である天津市の中学生を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解や交流を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センター等において、環境学習を実施した。

市内の事業所や三重県と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校9校で実施した。

JAF三重支部の協力により、市民を対象としたエコドライブ講習会を年2回実施した。

実施日	実施場所
5 / 19 (水)	四日市自動車学校
7 / 11 (日)	四日市自動車学校

商工会議所、霞ヶ浦地区企業や四日市港管理組合との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩など、環境負荷の低い方法での通勤を年1回実施した。また、ライトダウンキャンペーンや環境配慮行動のシンポジウムにも協力を行った。